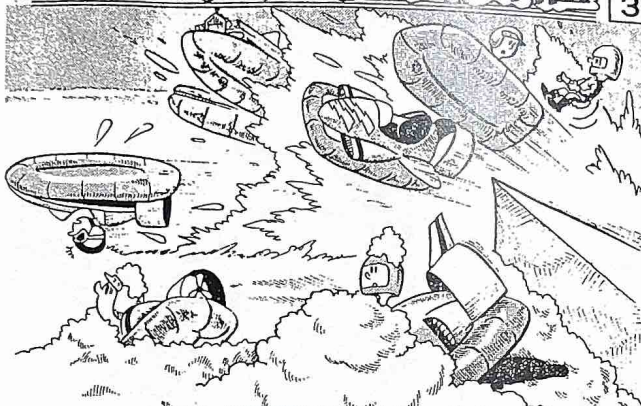


初の全国競技会開催

秋田・雄物川 3月3日号砲



しぶきを上げて浮遊走行するホーバークラフト



「開」あむむせ 西仙北町設置
商工観光課(0187-7541)

小型ホーバークラフトに参初全国競技大会
が、3月3日、秋田県の雄物川で開かる。大会となろうが、しぶきを
各地から20艇が参加予定で、川と温泉を流して、上げて添を突、止。フワ
船は、流波の町、仙北町西仙北の町、ヒシシシシシシシシシシシシシシシシ
おいての「極」でもあり、これを後援に全国初水。か、運えは、船を押し、が、こを舞台にタイムを競
の、競「コー」の競も計画、ニュー・レジャース 上げ、疾走し、初の全開大会。時速はさ、50から60
ボートのメカを自備している。

小型 ホーバークラフト 浮遊の王者

クラフト競技選手車大士の
会員は、秋田・西仙北町内の
雄物川をのり、「におわ

上催するのは、今年、小型
ホーバークラフト協会本部
・仙北町。昨年10月、全国
の同好会が集まって組織され
たばかりで、会員数は12クラ
ブ、約400人。同協会の理
事長、佐藤好安さんは「船をこ
むっている川を選手
にとって、町を活性化
している。それに
はホーバークラフト
は実に魅力的だ。
同時に、地域に密着
コースを開き、艇を
普及させて、ライセ
ンススクールも開校
—など構想は広が
る。むろ、競技大
会も開催化さあつ
ち、今年、ニュー
レジャースポー
ツイベント期待を
高めている。

町おとしに一役 常設コース開設も計画中

ホーバークラフト
は最近、レジャース
ポットの分野で急激
に人気を博めてい
る。空圧で浮いて
水陸両用でも走れ
る快感が受け、フ
ンも増加、現在
国内には自作な
ミニ艇が300か
500艇あるとい
われているが、これ
大手企業が生産、輸
入して、そうした事
を背景に企画された
のがこの大会。

「この大会は、秋田県
小型競技会開催準備
し、大会は、秋田県
「大い」に開催された
と、同協会が、同本政
理士、同協会は、同本
政理士、同協会は、同
本政理士、同協会は、
同本政理士、同協会は、
同本政理士、同協会は、
同本政理士、同協会は、

No.59